



全国の学生から集まった夢を紹介!



TOWNWORK Presents

キャンパスライフ・プラスワン Campus Life+1 通信

～教えて!みんなの夢～ Vol.15

学生の皆さんへの夢募集企画

「Campus Life+1」に

お寄せいただいた夢をご紹介します。

どのような夢を持っているのか?

その夢を持つに至った背景は?

今、どんなことに取り組んでいるの?

全国の学生の皆さんの「夢」に迫ります!

Profile

名古屋工業大学
3年生

三浦 淳弘くん
(21歳)

愛知県出身。大学では工学部に所属し、主にセラミックスなど材料の研究をしている。直近の目標は、大学院に進学して、研究を続けること。



見た目も美しく、生物として興味深い キリンの魅力をもみんなに伝えたい!

私の夢は、キリンという動物の素晴らしさを伝え、キリンの一大ブームをつくることです。先日、大学の環境生態学の授業の一環で、動物園で動物について調査し、レポートを提出する機会がありました。そこで私が選んだのは、昔から好きだったキリンでした。私は、幼い頃背が低く、大きいものへの憧れを強く持っていました。そんなとき初めて動物園でキリンを見て、スケールの大きさに圧倒されました。長いまつ毛やスラッと伸びた長い足を使って歩く姿は美しく、とても魅力のある動物だと思いました。それ以来、グッズを集めるなどキリンに夢中になっています。ただ、それまでは好きという気持ちだけだったのですが、改めてキリンのことを研究すると様々な興味深い生態を知ることができました。例えば、キリンの首が長いのは、「高いところにあるエサを食べるため」や「もともと短かったが、突然変異で首の長いものが生まれ、長いものが生き残った」など諸説あり、生命の神秘さを感じさせる興味深いものです。さらにその生活にも特徴があり、「睡眠時間は1日15分」「水を飲む際は足を開脚させて飲む」「舌は60cmもある」など、この面白さも含めたキリンの魅力をもっと世の中に

伝えたいと実感しました。

今回、Campus Life+1でグランプリを取ることができたら、キリンの魅力が伝わるグッズを作ったり、皆さんに愛されるようなキリンのゆるキャラを作ったり、一大キリンブームを起こしたいと考えています。カッコいい動物の象徴であるライオン、かわいい動物の象徴であるパンダと同じように、キレイな動物の象徴としてキリンが一般的に広まり、多くの人が動物園を訪れるようになればと思っています。



▲名古屋にある動物園でキリンを見る三浦くん。
今では年に数回も一人で動物園に行き、キリンの前で佇んでいるとか。

夢への足跡

1996年 3歳

幼い頃は背が低かったため大きいものに憧れていた

1998年 5歳

初めて動物園でキリンを見る。大きさや美しさに圧倒され、それ以来「キリン好き」になる

2014年 21歳

大学の環境生態学の授業で本格的にキリンについて調べる。みんなレポート用纸1枚のところ、三浦くんだけは4枚も提出したとか

2014年 21歳

キリンの素晴らしさを伝えるために「Campus Life+1」に応募

主催: **ENTAC!**

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク!」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

Campus Life+1の最新情報を掲載中!

エンタク

検索

<http://entac.jp/>

RECRUIT